

伊賀市 事務事業評価シート

ソフト事業

事業名	コード	名称	会計	コード	名称
事業名	72	地域振興事務経費	01	01	一般会計
基本施策	61	市内外から多様な主体を受け入れる、開かれたまちを	02	02	総務費
			01	01	総務管理費
			06	06	企画費
担当部課名		伊賀支所総務振興課	102	102	地域振興経費
作成者氏名	中島義文	連絡先	45-9111	01	地域振興事務経費

事業の計画・内容

事業の目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
事業の目的	支所管内のまちづくり活動を行う市民	市民と行政が協働して総合計画の地区別計画を実践することにより、地域の課題が解消されます。
本年度事業内容	各まちづくり協議会、関係各部と協議を行い地区別計画(伊賀)の策定を行いました。 住民が調査、検討、活動しやすいように、公共交通機関等の資料提供を行うと共に、協議を行いました。	
開始年度	平成 16 年度	終了年度 平成 年度
根拠法令・要綱等	伊賀市自治基本条例	

投入資源

	H17	H18(予算)	H19(予算)
投入人員			
正規職員 (人)	2	1	1
人件費合計(A)	14,400	7,200	7,200
支出内訳(千円)			
事業費(B)	67	87	2,587
需用費	66	69	69
役務費	1		
旅費		18	18
その他			2,500
合計(A+B)	14,467	7,287	9,787
財源内訳(千円)			
特定財源			
国県支出金			
地方債			
受益者負担			
その他特財			2,500
一般財源	14,467	7,287	7,287
上記 ~ に関する特記事項	一般コミュニティ助成事業補助金(H19)		

事業実績

活動指標	単位	実績値			目標値		
		H17	H18	H19	H17	H18	H19
地区別計画(伊賀)策定	件	1	0	0			
まちづくり協議会との協議回数	回	5	6	7			
コミュニティ事業補助	件	0	0	1			

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H17	H18(目標)	H19(目標)
まちづくり協議会との協議回数	まちづくり協議会の活動を支援していく上で、地域の課題を話し合う場として、まちづくり協議会との情報共有と連携を深めるため、協議回数とします。	回	5 目標 (5)	6	7
			目標 ()		

事業開始時からの状況変化及び事業の改善点等

柘植、西柘植、壬生野地域の各まちづくり協議会では、すでに活発な事業の取組みが行なわれています。しかし、今後、地域全体としての活動へと拡大していく必要があります。

評価	必要性	4	地域まちづくり計画は策定されましたが、この自主的なまちづくり計画が実践されていくか否かについての進行管理が必要です。	総合評価
	有効性	3		B
	達成度	2		
	効率性	3		